

各団体が実施する研修への相互参加について

1 概要

研修体系の構築に当たっては、「幼稚園教諭・保育士等の人材育成の基本的な考え方」（以下、「基本的な考え方」という。）に基づき、幼稚園教諭・保育士等が所属する園等に影響されることなく、必要な研修を受講できるよう、同一の研修体系としていくことが望ましい。

一方で、各団体の研修は、実施手法や内容、実施に至った経緯等、各団体の事情に応じて実施されている。

また、幼児教育・保育の一体的な質の向上には、幼稚園・保育園等が行っている教育・保育内容に対する相互理解も必要になる。

このため、「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」を踏まえつつ、幼稚園教諭・保育士等が、希望する内容や業務の都合等に応じて受講できるよう、各団体が実施する研修の一部について、段階的に相互参加できる方法を検討する。

2 現状

各団体で、経験年数等に応じた研修を実施しているが、

- ・ 複数の実施主体により類似した内容の研修が行われている。
- ・ 園等が加盟する団体や、職員の職種により、参加できる研修が限定されている。また、団体に加盟していない小規模の園等は、研修機会が少ない。
- ・ 子どもの在園時間が長い園等では、勤務時間内に多くの職員が一斉に研修に参加することが困難である。

といった状況にある。

3 検討に当たっての視点

「2 現状」に挙げた状況の改善に向けて、幼稚園教諭・保育士等が、希望する内容や業務の都合等に応じて研修を受講できるよう、以下の視点を踏まえ、各団体が実施する研修のうち、相互参加可能なものを検討する。

- (1) 各団体が基本的な考え方に示す共通のキャリアステージを活用
幼稚園教諭・保育士等が、所属する団体を問わず共通のキャリアステージに基づいて必要となる力を身に付ける。
- (2) 幼稚園教諭・保育士等の研修機会の確保
研修の実施主体を問わず、幼稚園教諭・保育士等が自身に必要な研修に参加できる機会を拡大する。
- (3) 時間を柔軟に活用して受講する研修
園等の実情により、園外の研修に参加することが難しい幼稚園教諭・保育士等が、時間・場所を問わず受講できる環境を整える。

(凡例)

【研修主催者】
【研修名】
・主な研修内容

※ 太枠は対応済

4 相互参加を検討する研修

区分	基礎形成期 (1~2年目)	成長期 (3~5年目)	発展期	充実・深化期	
	クラス担任・学級担任など			充実・深化期Ⅰ	充実・深化期Ⅱ
			学年主任、チーフ、主任、副園長など		園長など
倫理観					
責任感					
協調性					
幼児教育・保育を構想する力					【広島市教育センター】 【幼稚園主任研修】 ・幼児教育の充実に資する主任の役割
	【広島市教育センター】※現在は公私幼稚園教諭対象 【人権教育研修】 ・人権感覚を高める指導の工夫		【市保育連盟】 【園内研修コーディネーター養成講座Ⅱ】（講義） ・公開保育カンファレンスとは		【広島市教育センター】 【幼児教育実践研修】 ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を考慮した領域「環境」の指導の充実
	【広島市教育センター】 【幼児教育実技研修】 ・幼児の発達に応じた遊びの指導の理解				
	【広島市教育センター】※現在は公私幼稚園教諭対象 【特別支援教育基礎研修Ⅰ】 ・発達障害等のある子どもの困り感に対するアプローチ 【特別支援教育基礎研修Ⅱ】 ・肢体不自由のある子どもへの対応				
		【広島市教育センター】 【平和教育研修】 ・広島市の平和教育充実			
幼児教育・保育を実践・展開する力	【乳幼児教育保育支援センター】 【新規採用者合同研修会】 ・保育者としての私は、どのような姿勢で子どもと向き合えば良いのか？				
	【指導第一課】 【幼保小連携研修園・校研究の成果の普及】 ・実践発表・公開保育・公開授業				
			【市保育連盟】 【園内研修コーディネーター養成講座Ⅱ】（演習） ・やってみよう公開保育・カンファレンス		
		【広島市教育センター】 【ICTを活用した授業づくり研修】 ・学習のねらいにつながる効果的なICT活用			
組織を運営する力			【市保育連盟】 【園内研修コーディネーター養成講座Ⅱ】 ・マネジメントとは ・語り合いのある園内風土の構築		